

手術（ポリープの内視鏡的切除術）について

1. 手術（内視鏡的大腸ポリープ切除術）の方法

①ポリープが小さいなら、コールドポリペクトミーと言ってジャンボ鉗子にて通電せずにかじり取ります。負担が少ないので2～3日の安静で終了します。

②やや大きいポリープは内視鏡を通して、ワイヤーをポリープに輪投げのようにかけて、電気メスで焼き切ります。術後は潰瘍を形成しますので2週間ほどの安静が必要です。ポリープの部位や大きさによっては、取り残しや出血・腸穿孔などの偶発症（約0.2%）の危険があり、入院加療が必要になる場合があります。手術の目的とともに偶発症についてもご理解下さい。

- ・ 5mm未満…生検（手術ではありません）
- ・ 5mm～7mm程度…手術（コールドポリペクトミー）
- ・ 8mm～1cm程度…手術（内視鏡的大腸ポリープ切除）
- ・ 1cm以上…入院又は外科的手術

2. 生検とは

ポリープの一部や小さいポリープ全部を鉗子でかじる方法です。これは手術ではなく検査の一つです。保険会社の手術給付の対象ではありません。